

# ケンカしないで いい案出そう!

2024年12月12日、本多公民館ホールに、赤ちゃんからシニア年代まで、一堂に会し、寸劇や事例を通して、日常での心地よい会話について、皆で一緒に考えました。

前半は、恒例のウィンウィン劇場。

今回は、翔馬君が赤ちゃんからイヤイヤ期、思春期、高校受験期と成長していく過程での、親子のやり取りを寸劇で再現。ちょっとイラっとする場面の後、パパとママが親業を習い、翔馬君の話を聞くときの言葉が変化しました。親子の気持ちを通い、翔馬君は自分で決めた志望校を目指して頑張り、無事に合格しました。



翔馬 誕生

### 困っている相手の話を 聞くコツ

- ・あいつち
- ・くり返す
- ・気持ちをくむ など

今は自分の意見・感想を言わない!

### 翔馬 中3

学校での保護者面談を終えた日の会話



後半は、4-5人の小グループに分かれて、事例を読み合い、感想を自由に話しました。

さらに、「翔馬君が高校生になり、ママは資格取得の勉強をしたい。週末の食事作りや家族で過ごす時間について」アイデアを短時間でたくさん出し合いました。ケンカしないで話し合うコツや楽しさを体験できたかと思えます。

### アイデア出しを楽しむ

- ・頭を柔らかくして
- ・なるべくたくさん案を出す
- ・今は批判や評価をしない

### 【参加者アンケートから】

- ・劇に「あるある！」ポイント、たくさん詰まっていました
- ・劇を見て、自分がいかに命令、説教、提案してしまっていることを反省
- ・「わかっているもできない歯がゆさ」をママ役がうまく演じていて、とても共感した
- ・娘が受験生で、テーマも合っていて、話をちゃんと聞き切ろうと心を新たにしました
- ・ママが、言い直しながらも息子さんの意向も聞こうとすることで、何より本人の意向を知れた喜びを表現されていたのが印象的でした
- ・会話を分析的に見て、話し合うことで、大切なポイントを再認識することができた
- ・相手に自分の思いばかりを伝えるのではなく、相手の考えもきちんと聞くような言葉選びが大切だと思った
- ・アイデア出しも皆で出すと、沢山出るものだなあと感心した、早速やってみたくなった
- ・席の皆さんと色々会話しながら、自分の考えをあきらかにできて、よかった
- ・土日の食事問題は、今直面している悩みだったので、皆さんの意見を聞いて、少し柔軟に考えられるようになりました
- ・親業のコミュニケーションのコツ（方法）を知って使うことで、大きな違いがあると感じつつも、なかなか使えない（使っていない）。意識して使う、積み重ねが大切だと思う